

株主通信 (第85期 第3四半期)

2019年4月1日～2019年12月31日

Passion for the Next Innovation

～次なる革新への熱い思い～



株式会社 電業社機械製作所

証券コード 6365

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第85期 第3四半期の株主通信をお届けいたします。

今年度は、官需向け案件の受注が好調であることに加え、国内民需案件並びに海外案件においても堅調に受注が推移しています。さらに、重点テーマのひとつである「海水淡水化ビジネスの確立」においては、サウジアラビアの海水淡水化プラント向けにエネルギー回収装置とポンプ類ほか一式をパッケージで受注することができました。これらにより、経営数値目標として掲げた4項目のうち、過年度まで未達であった受注高220億円が視野に入り、営業利益14億円、営業利益率7%、ROE6%を含めて、4項目全てを達成できる見通しとなりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年3月

代表取締役社長

土屋 忠博



事業の概況

■経営環境

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米中貿易摩擦長期化や中東情勢不安定化の影響などにより、世界的に貿易量が減少し、製造業を中心に減速傾向となりました。米国では個人消費は緩やかに増加しているものの、設備投資や輸出に弱い動きが続き、欧州では輸出の鈍化による製造業の低迷や、英国のEU離脱問題の影響もあり、景気の減速感が強まりました。また、アジア新興国では、中国で貿易摩擦激化の影響による成長鈍化が続いており、インドで景気の鈍化が鮮明となったほか、他の新興国でも輸出の減速などを背景に成長率の低下が見られました。わが国経済も海外経済減速の影響による輸出や生産の弱さが続いており、製造業を中心に景気の停滞感が強まる状況となりました。

■経営成績

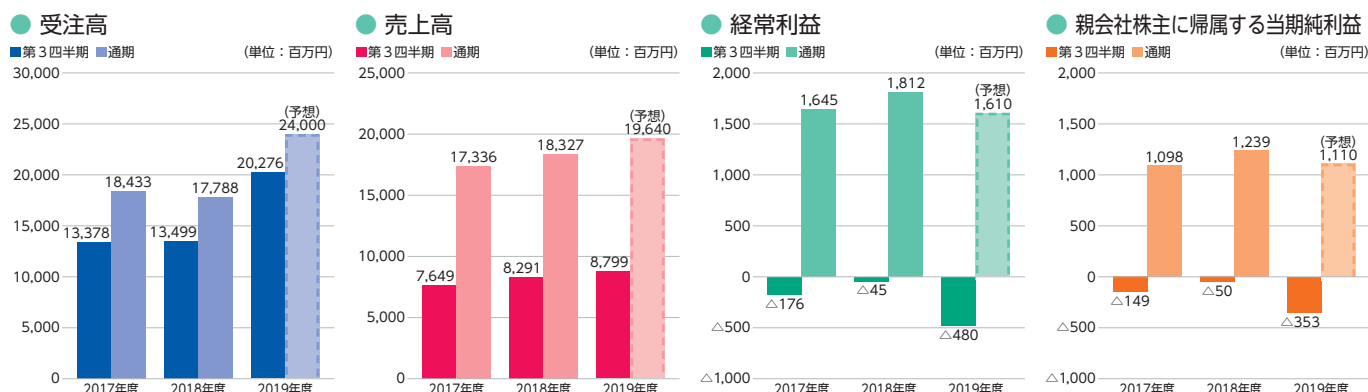
当第3四半期連結累計期間における受注額は、大型案件の受注があった官需部門をはじめ、国内民需部門、海外部門の全てで好調であったことから、前年同期に対し150.2%の202億76百万円と大幅に増加しました。売上高については、官需部門と海外部門が前年同期に比べて増加したことから、前年同期に対し106.1%の87億99百万円となりました。一方、利益については、前年同期に比べて利益率の低い案件の売上が集中したことなどから、営業損失5億97百万円（前年同期営業損失1億29百万円）、経常損失4億80百万円（前年同期経常損失45百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失3億53百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失50百万円）となりました。

なお、当社グループの売上高は、公共事業物件の割合が高いため連結会計年度末に集中する傾向があり、四半期別の業績には季節的変動があります。

■通期の見通し

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年11月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

連結財務ハイライト





台風19号による災害へのお見舞いと復旧状況

2019年10月に発生した台風19号により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

全国各地において甚大な被害をもたらした台風19号により、当社製品が納入されている機場等においても主要機器であるポンプの他、駆動設備や電気計装設備などの付帯設備が水没する被害がありました。当社は、復旧に向けた作業に全力を挙げて取り組んでいます。



● 浸水被害を受けた機場



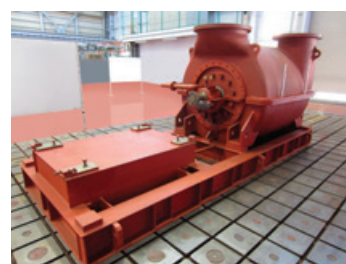
DMWプレゼンテーション2019開催

2019年11月、三島事業所において「DMWプレゼンテーション2019」を開催し、ユーザー、エンジニアリング会社、プラントメカなどから28社、計52名の方々に出席いただきました。

本プレゼンテーションでは、「社会的価値創造と未来社会への貢献」をコンセプトに、当社の戦略的重点分野であるオイル&ガス、海水淡水化、エネルギーの分野で活躍する当社製品について紹介しました。今後、当社の主力製品として期待される海水淡水化用エネルギー回収装置**DeROs®**や、多段ブロワ**AM-Turbo**等の技術説明をスライドを用いて行いました。その後、工場において**DeROs®**実機の運転状況等について見学いただきました。省エネルギー性能や低騒音・低振動であることなどをご確認いただき、好評のうちに終了しました。



● DeROs® 運転状況の様子



● AM-Turbo



地元高校生対象の排水機場見学会

2019年11月と12月の2回に分けて当社が排水ポンプ設備の更新を行っている焼津東部排水機場にて、地元の「静岡県立焼津水産高校海洋科学科」の生徒を対象に機場見学会が開催され、当社から説明員を派遣しました。

見学会では、機場を所管する静岡県志太榛原農林事務所の方から機場の役割、事業の説明、当社からポンプ設備の説明をした後、実負荷運転を行いました。当日の様子は、県内の新聞やニュース番組でも報道がされました。

今回更新されるエンジンは、船舶用を流用しており、稼働開始から50年以上が経過しています。船の機関を学ぶ生徒にとって、貴重なエンジンや同エンジンで駆動するポンプ設備の見学が、成長の一助となることを願っています。



● 実負荷運転の様子



● 撤去されたエンジンを用いての説明

ホームページ
のご案内

当社ホームページ

<http://www.dmw.co.jp/>

最新のIR情報につきましては、
当社のホームページ「IR情報」を
ご参照ください。

「株主・投資家情報」
検索はこちらから▼

電業社 IR

検索

